全国市民アクションニュース

No：10
2019年3月24日

〒101-0064
東京都千代田区神田猿楽町1-2-3
錦華堂ビル４Ａ
■電話 03-5280-7157
■FAX 03-5280-7158
■Mail：info@kaikenno.com
発行：安倍９条改憲ＮＯ！
全国市民アクション

42回目の「19日行動」に3000人

安倍政権による改憲発議阻止
辺野古新基地建設断念を訴える

安倍９条改憲 NO！全国市民アクションと総がかり行動実行委員会は３月19日、４２回目となる「19日行動」を実施しました。参加した3000人は、「安倍政権による改憲発議阻止」、「憲法審査会を始動させるな!」［辺野古新基地建設断念！」などを訴え、改憲発議阻止・安倍政権の打倒に向け闘い抜くことを確認しあいました。

3000万人署名をさらに拡大し 世論の力で国会での改憲発議阻止を!

集会は、菱山南帆子さん（9 条壊すな！実行委員会）の司会で進行。最初に主催者を代表して**福山真劫さん（戦争をさせない1000人委員会）**があいさつに立ち、「辺野古新基地工事の強行、改憲への動き、権力の私物化、安倍政権の大悪事が続いている。憲法審査会など絶対に開かせてはならない。沖縄と全国の仲間が闘えば基地建設も阻止できる。また、参院選でも野党と市民が共闘すれば必ず勝てる。自信をもって闘いましょう」と訴えました。

政党からは、**国民民主党副代表の津村啓介衆院議員、社民党副党首の福島瑞穂参院議員、日本共産党の藤野保史衆院議員、自由党の森ゆう子参院議員、立憲民主党の有田芳生参院議員、会派「沖縄の風」の伊波洋一参院議員**が登壇。それぞれ安倍政権打倒に向け共に闘う決意を述べました。

運動団体からの発言は、まず、**オール沖縄会議の高里鈴代さん**が「16 日開催の沖縄の県民大会の決議をもって防衛省等へ要請してきたが、我々の声を一顧だにしなかった。活断層や軟弱地盤があり、ジュゴンが死んだ。辺野古に基地は作れないと自然が声をあげている。地方選、参院選をしっかりとたたかい抜き、辺野古NO！と言える政府を作り出そう！」と呼びかけました。

沖縄平和市民連絡会の北上田毅さんは、土木技術の専門家の立場から辺野古新基地予定地の軟弱地盤問題についてふれ、「軟弱地盤を抱える大浦湾埋め立てはできない。政府は焦っている。設計内容の変更申請を行なわなければならないが、玉城デニー知事はそれを許可しない。すると工事は頓挫することになる。けっして屈することなくたたかい抜けば、勝利はかならず私たちのものだ。」と訴えました。

女性差別撤廃条約実現アクションの柚木康子さんは「財務大臣が女性に選挙権を与えたのは失敗だったと発言したり、女性を一律減点する医大の入試があったり、職場のセクシャルハラスメントやマタニティーハラスメントも続いている。また非正規の 7 割は女性だ。女性差別はすべての差別につながっている。平和なくして平等なし、平等なくして平和なしだ。一日でも早く安倍政権を倒し、平和憲法を生かし差別のない社会を一緒に作っていこう！」と呼びかけました。

また、**日本マスコミ文化情報会議の南彰さん（新聞労連委員長）、安全保障関連法に反対する学者の会の西谷修さん（立教大学特任教授）**も、連帯の挨拶とたたかう決意を述べました。

3000万全国統一署名
各地の取り組み報告

愛知県　100 以上の署名　70 軒の集落、断られたのは 3 軒

愛知県新城（しんしろ）市のMさんからの電話取材で下記の取り組みの報告を受けました。

近所の各戸を訪問、寄せられた署名は 100 人をこえました。

７年前からの療養中の毎日のなかで知った全国統一署名の提起に、「これはいい！　どこでもできる。野党連合の応援になる」と思い立ち、住んでいる 70 軒の集落の一軒一軒を歩いて訪問し、「戦争をさせないための署名です」と協力を訴えました。５日間ほどで回れました。

住んでいるところは山の中の集落で、「保守ばっかりかも」とこわごわで始めてみました。ところがやってみると「戦争は絶対いや」「戦争はこりごり、二度とあんな嫌な思いはしたくない」「今の政治は何？高い戦闘機を買い込んで…」などの声とともに次つぎ協力してもらいました。息子が自衛隊に行っているという家で、そのお母さんが「夫はどういうかわからないが私はこの署名に賛成です」などと思いを語りながら署名してくれました。

結局断られたのは３軒だけ。せいぜい「20～30 人くらいが署名してくれれば上出来」と思っていたが、結果は村の人たちから励まされ、勇気をもらったということです。連れ合いもびっくりし、自分も子どもに電話したり知り合いに訴えたりしています。

これから目標を 200 にして、隣の集落（約 80 軒）を訪ねようと考えています。夏の参院選挙にも結び付き、全国各地で取り組まれている署名運動とつながっていくようにしたいと思います。

東京都　板橋南部アクション　全戸訪問に大きな反響

安倍首相が９条改憲の策動を強める中、幅広い方々が呼びかけた「3000 万人署名」を推進しようと、17 年 12 月に「**９条改憲ＮＯ！板橋南部アクション**」を立ち上げました。地域の商店街で署名活動には大きな反響が寄せられました。

同時に、改憲発議許さず、対抗するためには、国民・住民一人ひとりに改憲の問題を考えてもらい、地域に９条改憲ＮＯ！の多数派を形成する必要があると結論づけました。こうして、南部アクションの地域約１万世帯の全戸訪問を開始しました。

訪問では様々な意見の方に遭遇し、対話が弾みます。「これはいける」との確信を強めました。

訪問活動の大まかなパターンは、週一回８人（４組で行動、事前に「協力のお願い」と署名用紙・資料を入れた封筒を配り、後日訪問するというものです。その結果や経験を共有するようにしています。これまでに 2400 人分の署名を集めています。

（９条改憲ＮＯ！板橋南部アクション事務局稲井裕一さんの報告から）

東京都　郵便で訴え、566 人の署名　渋谷区Mさん

渋谷のMさんからのカンパ送金（2018 年 11 月）の振替用紙に書き込まれていた通信です。

「（18 年）１月から郵便で統一署名を始めたところ、11 月 10 日現在で 566 の署名が実現できました。これからも続けます」

青森県　九条の会が商店街で訴え「安倍ブラック政権を早く倒して！」

青森県九条の会は２月６日、青森市新町商店街で署名宣伝行動を行いました。15 人が参加しました。

「安倍政権やばいよね」などと次々署名が寄せられました。「一刻も早く安倍政権を終わらせたい。森友・加計問題は未解決、虚偽や暴言のうえ、責任を取ろうとしない。会社だったら信用ゼロのブラック企業、安倍政権はブラック政権です」（30 歳会社員女性）、「議論でなく持論を広げて賛同を迫る安倍さんのやり方は間違っている」（５０歳代男性）などの声も寄せられました。

岩手県　署名付きチラシ独自作成　発議させぬ　アクション岩手の会

全国市民アクション岩手の会はこのほど、3000 万人署名が５人書ける受取人払いのはがきを刷り込んだカラーチラシ７万枚をつくり活用しています。

北上市ではこのチラシを２万戸の全戸配布を計画、岩手の会を構成する 130 の団体での大量活用をはかっています。

岩手の会の署名目標は３０万人、到達は１月現在 55.3%。目標達成で、９条改憲発議断念、安倍政権の早期退陣へと意気込みを強めています。

福島県　県全体で有権者の 10%突破　全市町村から請願署名提出が課題

福島県市民アクションより取り組み概要が届きました。以下紹介します。（全国市民アクション事務局）

「福島県市民アクション」は 2017 年 12 月に結成し、18 年年明けから全県で署名活動を展開してきました。

62 団体からの協力で寄せられた署名は、1 月 30 日現在で 16 万 5,546 に達しました。これは、当県有権者の 10%を超えるものです。また目標の 34.5%です。

只見町では目標の 200.1%、有権者比 57%、柳津町では目標の 116.7%、有権者比 34%となりました。この他、それぞれの目標の５０%を超えている市町村は、須賀川市（目標比 79.7%）、三春町（71.8%）、喜多方市（52.9%）湯川村（51.4%）、会津若松市（50.8%）、福島市（50.1%）となっています。

また、９条改憲に反対する霊山連絡会は、独自に掲げている目標の 2,000 に対し 3,037（151.9%）に到達しています。

年末年始の 2 か月間に約 6,000 の署名が次の諸団体からよせられました。

泉崎村九条の会準備会、市民アクション蓬莱、福島県九条の会事務局、9条改憲に反対する霊山連絡会、憲法9条を守る只見連絡会、自治労連福島県本部、日本共産党福島県委員会、九条の会・喜多方、笹谷・大笹生九条の会、福島県民医連、新婦人福島県本部、国民救援会福島県本部、虹と緑の会、三保田町有志、郡山市九条の会、県教組郡山支部、県中の会事務局、郡山地方労連、須賀川市民アクション、三春九条の会。

広島県　冷たい雨の中 3000 万人署名呼びかけ　ヒロシマ総がかり行動

戦争させない・9条壊すな！ヒロシマ総がかり行動実行委員会は２月３日、冷たい雨の中、広島市の繁華街で、安倍９条改憲ＮＯ！憲法を生かす全国統一署名（3000万人署名）への協力を呼びかけました。行動には 30 人が参加しました。

青森県　青森市繁華街 30 分で 40 人の署名、切実な声も　県九条の会

青森県九条の会は２月 27 日、青森市内の繁華街で 3000 万人署名行動を行いました。呼びかけに市民が次つぎ応え、30 分間で 40 人が署名しました。署名をしながら多くの切実な声が寄せられました。

お江戸日本橋～京都三条大橋　東海道五十三次で3000万人署名・宣伝

新聞、放送などの関係者による**マスコミ九条の会**が呼びかけた「『戦争する国』ゴメン！政治を変えよう　東海道五十三次いっせいアピール」行動が３月９日、48 の「宿場」53 ヵ所以上で取り組まれました。同会のほか、**東京、神奈川、静岡、愛知、三重、滋賀、京都の各都府県の九条の会**なども協賛・協力して「安倍９条改憲ＮＯ！全国 3000 万人署名」をいっせいにアピールしました。

東京都新宿駅　沖縄県民投票の日に行動

憲法9条壊すな！実行委員会・街宣チームは沖縄県民投票が行われた２月２４日午後、４０人が参加して新宿駅西口で１時間３０分、行動しました。のぼり、プラカード、ジュゴンや沖縄･美ら海のバナー、音響設備などでミニステージをつくり、ギターや三線の演奏、歌、踊り、紙芝居、寸劇そしてリレートークと多彩な宣伝を繰り広げました。

3000 万人署名と辺野古埋め立て土砂投入反対署名を訴えましたが、署名に列ができる場面もありました。

この日、５人の署名スタッフには 65 の 3000 万人署名、63 の辺野古署名が寄せられました。

東京都世田谷

戦争させない！9条壊すな！世田谷連絡会は 2 月 8～10 日、「９条改憲阻止・全駅いっせい宣伝」に取り組みました。昨年 9 月、12 月に続く 3 回目の行動です。行動には地域の九条の会や労働組合、民主団体、政党、個人、延べ 150 人が参加、21 の駅頭で 3000 万人署名への協力を呼びかけました。

これまでに 1500 人が署名に応じています。

神奈川県　国労OB連絡会が川崎駅前で署名宣伝

安保法制廃止と立憲主義の回復を求める市民連合の提起に賛同する国労OB有志連絡会は 2 月 17 日、ＪＲ川崎駅前で 3000 万人署名宣伝を行いました。今回の行動は、2017 年 12 月を第一回目に、11 回目となるものです。行動には地元神奈川の他、東京、千葉、静岡などから 22 人が参加し、1 時間に 28 人分が寄せられました。

富山県　有権者 20%＝20 万を目標に奮闘

安倍9条改憲NO！市民アクションとやまは、安倍改憲阻止のため、参院選までに富山県内での署名集約目標を 20 万（有権者の 20%）と定め、取り組んでいます。2018 年秋には、全県キャラバン行動を 11 月から 12 月にかけ７日間にわたり全県で展開、音声を流しながら広く県民の皆さんにアピールしました。署名は３月４日現在、13 万５千余りに到達しています。

今後は以下のように方向を確認し、次回の署名集約日を 4 月 22 日と設定し、取り組んでいくことにしています。

① 労働組合、民主団体で再度学習し、それと並行して署名運動を提起（事前のポスティングをやりながら、戸別訪問をおこなう対話署名活動を重視）
②署名運動のない地域に拠点を作る
② 山市等エリアが広い地域は細部に拠点を作る
④統一地方選が終われば、活動を本格化できるよう今から準備する
⑤参院選が始まる前までに目標の 20 万到達を目指す

安倍9条改憲NO! 3000万全国統一署名！
改憲発議阻止をめざし
地域・職場からさらに取り組み強化を！

新しいリーフレット、ポスターが大好評です

全国市民アクションのホームページなどでお知らせしているリーフレット、ポスター（A2、A3）が署名運動を進める大きな力になっていると好評です。
※送料のご負担（着払い）だけでお届けします。
注文数が5000部以上は独自の印刷をおねがいします。
ご相談ください
▽ご注文は安倍9条改憲NO！全国市民アクション事務局
電話03-5280-7157Fax03-5280-7158(宣伝物注文受付専用)
メールinfo@kaikenno.com

＊＊＊＊当面の行動日程＊＊＊＊＊＊

☆4月19日（金）18時30分～19時30分

名称：安倍9条改憲NO！辺野古新基地建設反対！
国会議員会館前行動（仮称）
場所：国会議員会館前
主催：総がかり行動実行委員会・全国市民アクション

☆4月24日（水）18時30分

名称：日韓市民連帯集会実行委員会「4・24日韓市民連帯集会」
（6月7～8日の日韓市民共同行動のプレ集会）
場所：文京区民センター
主催：日韓市民連帯集会実行委員会

☆5月3日（金）

最大規模の参加を！

名称：許すな！安倍改憲発議
—2019いのちと人権を！ 5・3憲法集会
11時～ミニステージ
12時～オープニングコンサート
13時～メイン集会
場所：有明・東京臨海防災公園
主催：5．3憲法集会実行委員会
共催：総がかり行動実行委員会・全国市民アクション